

### 第38回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：令和元年8月6日（火）  
午後3時～午後3時50分  
場所：三木市中央公民館 4階 大ホール

#### ○事務局

失礼いたします。それでは、定刻となりましたので、ただいまから第38回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開催いたします。

私は、協議会事務局の三木市都市整備部の●●と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

はじめに、本日の委員の出欠状況について御報告いたします。

本協議会の委員は25名でございます。委員の出席につきましては13名、代理出席2名、合計15名の出席をいただいております。協議会規約第8条第4項の規定により本会議は成立していることを御報告いたします。

それでは、次に、次第2、会長の選任に移ります。

仲田会長が本協議会の会長に就任をしましてから、委員の任期であります2年が経過をいたしております。本日、あらためて会長の選任をいたしたいと考えております。

会長の選任につきましては、協議会規約第5条第2項の規定により、委員の互選によってこれを定めるとなっております。これについてどなたか御意見等はございませんでしょうか。

はい、お願ひします。

#### ○●●委員

引き続き、仲田市長にお願ひするのがいいんではないかと思ひますが、いかがですか。

#### ○事務局

さきほど●●委員のほうから仲田会長に、引き続き、会長職をとというお声ございましたが、委員のかた、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

#### ○事務局

ありがとうございます。異議なしとの声ございましたので、本協議会の会長につきましては、引き続き、仲田三木市長にお願ひしたく考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、会長以外の役員につきましては、副会長には小野市副市長●●様、監事には神戸市都市局担当部長（交通担当）の●●部長様に、引き続き、それぞれお願ひしたいと考えております。

それでは、協議会の会長の仲田三木市長より御挨拶をお願ひいたします。

#### ○会長

皆さん、こんにちは。今日、お忙しい中にもかかわらず、こうしてお集まりをいただきましてありがとうございます。

また、さきほどは本協議会の会長再任ということで、再任をいただきましてありがとうございます。今後も神戸電鉄粟生線の維持・活性化、また、存続に向けて皆さんとともに取り組んでまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひをいたします。

さて、今日は議事事項として、粟生線活性化の取組に対する毎年行っております国に対する支援の要望についてお諮りをさせていただきたいと思ひます。また、いつものように粟生線の利用状況のほか、さまざまな利用促進活動の取組についても御報告をさせていただきたいと思ひます。どうか皆さんがた、いろんな御意見を出していただいて、また、忌憚のない

意見を出していただいて、有意義な会議にしていきたいと思いますので、どうかよろしくお願ひ申し上げ、簡単ですが挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

○事務局

はい、ありがとうございました。

それでは、次第3、議事に入ります。

これからの進行につきましては仲田会長にお願いしたいと思います。会長、どうぞよろしくお願ひします。

○会長

では、私のほうから進めさせていただきます。

お手元の会議次第に沿って進めます。

まずは、議事の第1号、さきほど挨拶で申し上げました粟生線活性化の取組に対する国への要望について、まずは事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

失礼いたします。事務局の都市整備部交通政策課の●●と申します。どうかよろしくお願ひをいたします。

それでは、以下、着座の上、失礼をいたします。

それでは、右肩、資料1と書かれたものです。議事の1号、国への要望についてという内容でございます。毎年恒例となっておりますけれども、本年度におきましても、昨年度に引き続きまして、国への要望活動を実施してまいりたいと考えております。

まず、見出しの1番、要望の主旨というところであります。

こちらはちょっと大事なところでありますので、読み上げをさせていただきますと思っております。

主旨といたしましては、国と地方が一体となって、中長期的な視点に立って地方創生に取り組んでいる中、交通ネットワークの強化により地域間のつながりを確保し、相互連携や交流を図ることがますます重要となっております。このため、沿線住民等の需要に配慮した交通手段を効果的・効率的に整備するため、国におかれましては、交通政策基本法に定める国の責務といたしまして、次に掲げる内容についての積極的な取組及び支援を要望するものでございます。

要望の主旨としましては、大きく3点上げております。

まず、1つ目につきましては、粟生線の防災機能強化に対する支援であります。粟生線につきましては、日本のほぼ中央部に位置するという位置的な状況がございます。東西の輸送ネットワークを維持する上で必要不可欠な路線というふうになっております。また、北播磨の基幹駅でもあります粟生駅におきまして、JR加古川線、北条鉄道などと連携をいたしまして、地域を担う鉄道ネットワークの一部として機能しているというところであります。そして、かつての阪神・淡路大震災のような災害時におきましては、他路線の代替機能の役割を果たす非常に重要な路線と、そうした性格を有しているわけでありまして、

そうしたことから、要望の主旨としましては、さきほど申し上げましたような、大規模災害が発生した場合における多数の者の移動手段及び物資の円滑な輸送手段として必要不可欠、そういったことに鑑みまして、本年度、特に力点を置いて要望してまいりたいと思ひますのは、次になります。多発する自然災害への防災対策あるいは災害復旧に対する支援制度の堅持・拡充ということで、とりわけ昨年度の自然災害等も踏まえた中での対応ということでありまして、将来にわたる粟生線の存続を支援するというものであります。

要望の2つ目であります。沿線自治体及び地域の取組に対する支援ということでありまして、こちらにつきましては、国のほうの補助メニューとして地域公共交通調査事業というものがございます。実際、本協議会におきましても過去2年間、この補助メニューを活用させていただきまして総合時刻表の作成を行ってきたところでありますけれども、このたびにつ

きましては補助対象範囲の拡充といったところ、そして、補助対象期間の延長という2点を考えております。

補助対象範囲につきましては、利用促進を目的とした、また、利用促進につながるような、例えばですけれども、社会実験の実施に要する経費なども補助対象範囲に含めていただけないかどうか、あるいは期間の延長につきましても現行2年となっておりますけれども、中期的な視点に立ったまちづくりということで、2年から5年にと、期間の延長も併せて要望を行うものでございます。

それから、3点目につきましては、安全運行に必要な予算の確保ということで上げております。鉄道安全輸送設備等、鉄道の安全運行に資するための整備の制度というものにつきましては既にあるわけでございますけれども、こうした支援制度を、引き続き、堅持・拡充していただくということでもあります。また、現状、沿線自治体が一体となって行っております支援と協調して、国におかれましても安全運行に必要な予算を確実に確保していただきたいと、主にその3点、要望の主旨として上げさせていただいているところでございます。

見出しの2、要望者につきましては仲田会長でございます。

それから、3の要望先につきましては、これはあくまで予定ですが、昨年度と同様、国土交通省総合政策局あるいは鉄道局などといったところを要望先としております。

それから、4の要望時期であります。こちらにもあくまで現段階での予定でありますけれども、来月、9月17日の火曜日を予定といたしまして、現在、国と調整を図っているところでございます。

それから、1枚ページをめくっていただきまして、以降につきましては要望書（案）という形で、表紙を含めて合わせて4枚付けております。

表紙を1枚めくっていただきまして、要望の主旨、概要につきましてはさきほど申し上げたとおりですが、この要望書の構成であるとかそのつくりにつきまして、若干触れさせていただきたいと考えております。

要望書の表紙をめくっていただきまして、まず、防災機能を担う神戸電鉄粟生線についてというところであります。いくつか段落がありますけれども、粟生線につきましては、沿線地域住民の通勤、通学、あるいは自家用車を持たない高齢者などにも利用されている沿線地域を支える重要な路線ということでもあります。

それから、さきほども申し上げましたが、北播磨地域の広域的な鉄道ネットワークの一部として機能している路線であるということ、それから大規模災害等におきましても他路線の代替機能の役割を果たす重要な、防災対策の観点からも重要な路線ということでもあります。

こうした状況にあるわけでありまして、利用者数につきましては年々減少しております。加えて、近年、多発しております台風あるいは豪雨といった自然災害の影響によりまして、運休や災害復旧が発生している。そうした今の現状も記載をしているところであります。

同じページの後段には、沿線自治体及び地域における利用促進の取組についてということで記載をしております。「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」を策定し、現に公共交通の利用促進などに着実に取り組んでいる状況、そして、1ページめくっていただきまして、次のページになりますけれども、沿線地域の住民の皆様におかれましても、粟生線サポーターズクラブなどを通じた沿線地域が主体となった利用促進を活動しているといったようなところを記載しております。

そして、3つ目の段落でありますけれども、鉄道の安全輸送設備等の更新及び修繕についてといったところであります。こうしたところにつきましては、新型車両の導入といったところ、国の御支援を受けまして本年度に完了する見込みというふうになっておりますけれども、老朽化車両あるいは法令改正等に合わせた鉄道安全設備等の投資、改修につきましては計画的に、引き続き、行っていく必要があるといったようなところであります。

そのページ下のほうには、栗生線につきましては現在においても1日に約2万2千人のかたが利用されていると、万が一にも栗生線が廃線となれば、車あるいはバスだけでは輸送が困難、日常の移動手段が奪われ、生活基盤にも大きな影響が生じるといったところで、こうした栗生線の維持・存続を図るためには、現在の利用促進活動あるいは支援を継続していくことが不可欠な状況ということでごくっております。

そして、1枚めくっていただきますと、要望ということで、時間の関係上、読み上げは割愛をいたしますが、冒頭に説明したとおりでありますけれども、要望の主旨と、それから要望の内容を3点あらためて記載をいたし、要望書としての体裁を整えているところでございます。こちらの要望書によりまして、今年度の要望活動を実施してまいりたいと考えております。

御説明については以上となります。よろしくお願ひいたします。

○会長

はい、ありがとうございました。

それでは、議事第1号について何か御意見、御質問等がありましたら、挙手にてお願ひをいたします。

いつも申し上げますが、なければ、また、その後でも思い付かれたときでけっこうですので、まずは、よろしいですか。

ないようですので、次に移らせていただきたいと思います。

まず、議事第1号について質問がないようですから、御承認いただけるということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。では、第1号議案は承認されました。

続いて、報告事項に入ります。

まず、報告事項第1、栗生線の利用状況について神戸電鉄さんからお願ひいたします。

○●●委員

それでは、資料2に基づきまして御説明させていただきます。

いつもの表でございますけれども、表の2つ目のところに、この4月から6月の実利用者数の合計が210万7,511人ということになってございます。その内訳が上の表になっておりまして、左側に乗車された駅の属する路線が書いてあって、右のほうに降車された駅の属する路線を書いていると。内訳がそうなっているというところを見ていただいたらと思います。

3段目のところに、各駅の利用状況ということで書いていまして、左から栗生線内の利用、その次に、有馬の「有」と栗生の「栗」ということで矢印が入っていますけれども、ここは有馬線から栗生線のほうに入ってこられたお客様がその駅で降りた人数、その次のところが逆ということで乗降になっていまして、その合計、それを1日当たりに割り戻した数ということになっていまして、一番右側が全体に占める乗降者数の割合ということになってございます。これを見ますと、各市の計がございまして、栗生線の利用の中で神戸市の市域の駅で乗降されたかたの割合が46.2%、三木市の市域で乗降されたかたが36.5%、小野市の市域で乗降されたかたが17.2%と、そういう内訳になっているということでございます。

裏面にまいりまして、今度は増減なんですけれども、去年の4から6月と比べた数字になってございます。2つ目の枠のところを見ていただきますと、実利用者数ということで3万3,801人減少ということで、これを1日当たりに直すと371人減りましたと。対前年増減率でいくと1.6%の減少になっています。

さきほど要望書の中でも自然災害の対応ということが出ておりましたが、去年は非常に災

害が続きました、実は7月以降についてはその災害の反動がいろいろ出てくると。そういう意味では今年度の利用者数のトレンドを見る上では、この4から6月しか、特にこの4から6月を見ておくのがトレンドを推しはかる上では正しいものだとこのところからしますと、今年もベースは1.6%のマイナスで始まったということは認識する必要があるかなと。

その上で、右に吹き出しを付けておるんですけども、前回の協議会では昨年の利用者数が800万人台を割り込んだ、災害の影響が13万人あるんだけれどもという説明をさせていただきました。この第1四半期、4から6月の状況を見ますと、この吹き出しに書いていますように、昨年の西日本豪雨や台風等による運休の反動、あるいは今年度がうるう年になりますので営業日数が1日普段より多いと、そうしたことを加味すると、本当は利用者数が最終的に前年を上回るということで、13万人影響があったんだから、それが794万人になったんだから、807万人というところなんですけれども、この1.6%の減少を鑑みると、最終的には800万人を割り込んでしまうというところですから、実質的に800万人を割り込んでしまう年になってしまう。そういう利用者数の減少が非常に厳しい状況であるということの認識は、この表から分かるのかなというところでございます。

下のほうに、各駅の増減ということで付けておりますけれども、ずっと説明していますように、木津駅と榎山駅の利用者数については、まだ増加トレンドが続いているというところ。あと、大村であったり栗生駅であったりというところが、これは増加していますけれども、ここは学生の移動経路等、高校生が主になりますけれども、1年生から3年生に属される生徒さんがどこから来てどこへ行くのかという、その移動経路によってここは変わってくるので、このようにプラスあるいはマイナスが出てきたりしているというようなことになっています。

あと、目立たないところで恵比須がプラス4とかになっています。1日当たりで見るとプラス4とかになっていますけれども、特にということはないんですが、特にこれというような原因はつかんでいませんけれども、利用状況を見てみますと、ここから榎山であったり、あるいは志染であったりというような利用が昨年に比べ増えているので、最終的にはこういうふうなプラスが出ている、特にこれがあつたからというような利用促進上のヒントになるものはないんですけれども、増えているということで御説明させていただきたいと思えます。

4から6月で特筆すべきことについては以上でございます。

○会長

はい、ありがとうございます。

この報告事項1について何か御意見等がありましたら、挙手にてお願いをいたします。

また、なければ後でけっこうでございます。

じゃあ、引き続き、2番、ネスタリゾート神戸格安クーポンの発売について事務局より説明願います。

○事務局

神戸電鉄運輸部の●●でございます。資料3に基づきまして、ネスタリゾート神戸（電車・バス&プール）格安クーポンの発売につきまして御説明をさせていただきたいと思えます。座らせていただきまして、御説明をさせていただきます。

「神戸電鉄栗生線地域公共交通網形成計画」の基本方針1「鉄道を軸とした地域公共交通網の維持・形成」における「鉄道とバスの連携強化」及び基本方針2「まちづくりと連携した地域公共交通網の形成」における「観光資源の開発とアクセス手段の確保」に基づきまして、次のとおりクーポンを発売いたしております。

クーポンの名称は、下にありますように「ネスタリゾート神戸（電車・バス&プール）格安クーポン」でございます。

発売期間は7月13日、土曜日から9月23日、月曜日、祝日の間となっております。

有効期間につきましては、その間のうちの土日祝日及びお盆期間、今年度で申し上げますと8月13日から15日までの3日間となっております。

クーポンの内容につきましては、電車、バスの往復乗車券とネスタリゾート神戸のプール入場券が入っております。

発売価格は記載のとおりでございます、発売場所も記載のとおりでございます。

昨年度からの主な変更点といたしましては、駅から施設までの移動手段といたしまして、昨年度はネスタリゾート神戸様におきましてシャトルバスを自主運行していただいておりますが、今年度につきましては神姫ゾーンバス様が本企画へ参画していただきましたことによりまして、同社のバスを利用できるようになっております。これに伴いまして、昨年度のクーポンは平日限定という利用形態としておりましたが、今年度につきましては、駅から施設までの路線バスの運行日に合わせまして、土日祝日あるいはお盆期間限定での利用となっております。

また、このクーポン発売に伴いまして、神姫ゾーンバス様におかれましてダイヤの調整をしていただきまして、鉄道からバスへの乗継ぎを改善いたしております。

ちなみに、昨年度のクーポンの発売価格につきましては、大人2,800円、子ども1,900円となっておりますが、上記の発売額から値段が上がっております要因といたしまして、当然のことながら、神姫ゾーンバス様の乗車運賃分がクーポンの発売価格に転嫁されているためでございます。

1枚めくっていただきました内容は、7月8日付けで実施されましたプレスリリースの内容でございます。さきほど読み上げました内容とほぼ重複いたしますので、こちらにつきましては割愛をさせていただきます。

報告事項の2番につきましては以上でございます。

○会長

はい、ありがとうございました。

このことにつきまして、何か御意見等はございますでしょうか。

はい、神戸市、●●さんどうぞ。

○●●委員

今年から土日ですとか、お休みの日も使えるようになったということもあるんですけど、この1か月の売上げといたしますか、実績というのとはどんなことになっているんでしょうか。

○会長

事務局、お答え願えますでしょうか。

○事務局

すみません。7月13日からの発売総数でございますが、昨日段階で、大人券で11枚、子ども券で6枚ということで、数量といたしましては非常に少ない数字となっております。こちらにつきまして、7月13日から発売ということなんですけれども、今年度は特にまだ梅雨明けが全然しておりませんで、ちょうどこのクーポン発売開始となりました7月13日から3連休でして、その翌週も土日だったんですけれども、ともに雨模様の天候でして、なかなかプールというような天候ではなかったというところで、ちょっと出足が鈍っておるところではないかなと考えております。

○会長

よろしいですか。

○事務局

すみません。

○会長

はい、どうぞ。

○事務局

その点につきまして事務局から補足で説明させていただきます。今年度はプレス、広報力を高めるとい趣旨を含めまして、兵庫県のほうで毎月発行しております「県民だより」の全県版と北播磨版というところで、それぞれで本企画についての紹介をお知らせという形でさせていただいております。また、併せまして、ちょっと時期は遅くなってしまうんですが、予定としては8月22日に、時間はまだ決まっていないんですけども、ラジオ関西のほうで本企画についての紹介をしていただくということで調整のほう進めております。

以上でございます。

○会長

よろしいでしょうか。

ほかにございますか。

よろしいですか。

たしかに僕、土曜日にネスタリゾートの支配人とたまたま出会ったんですが、今年はなぜか分かりませんが、まだプールのお客さんが少ないという話も出ておりました。天候のせいなのか分かりませんが、プールの利用者自身も少ないという話が出ておりました。御紹介をさせていただきます。

ほかにございますか。

では、次にまいります。神鉄おもてなしきっぷの発売について、事務局から御報告をお願いします。

○事務局

三木市都市整備部交通政策課の●●でございます。私のほうから資料4につきまして御説明をさせていただきますと思います。

そういたしますと、神鉄おもてなしきっぷの発売についてということで、「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の基本方針3「地域公共交通の活性化及び利用促進」における「企画乗車券等の販売による公共交通の利用促進」に基づき、次のとおり標記企画乗車券を発売しております。

企画乗車券の名前といたしましては、神鉄おもてなしきっぷということで、7月20日から本年9月30日までを発売期間としております。

有効期間といたしましては、上記発売期間のうち乗車日当日に限り有効ということで、企画乗車券の内容といたしまして、神戸電鉄1日乗り放題乗車券、それからおもてなしメニューの引換券と、こういうものを販売しているということです。

発売価格につきましては御覧のとおりということで、発売場所につきましては神鉄各主要駅等で発売をしております。

昨年度からの主な変更点といたしましては、おもてなしメニュー引換券が利用できる飲食店舗数を9店舗増やしたほか、神戸新開地・喜楽館においても当該引換券を700円の金券として利用できるようになったというところでございます。

皆様にお配りしている配布資料の中に神鉄おもてなしきっぷのパンフレットを付けております。こちらのほう、写真をふんだんに取り入れまして、企画乗車券のPRをしております。中身のほうを御覧いただきますと、沿線のさまざまな飲食店等の記載をしております。各飲食店等の説明の文章の一番末尾に、おもてなしメニューと記載がありまして、この企画乗車券を買われたかたがサービスを受けることができるおもてなしメニューの記載があります。このおもてなしメニューと神戸電鉄さんの1日乗り放題の乗車券が付いて、サービスが受けられるというような内容となっております。

このパンフレットの一番裏面の中ほど右側に、神戸新開地・喜楽館においても700円の金券として御利用がいただけるというようなところのPRも、併せて、させていただいております。

神鉄おもてなしきっぷの発売につきましては、以上とさせていただきます。

○会長

はい、ありがとうございました。

この件について、何か御意見等はございますでしょうか。

また、あれば、後ほどいただきたいと思います。

次に移ります。第52回日本女子プロゴルフ選手権ということで、先般、全英オープンで優勝された渋野さんも出場予定だというふうにお聞きしておりますが、事務局のほうで御説明をお願いいたします。

○事務局

そうしましたら、資料5に基づきまして御説明させていただきます。

第52回日本女子プロゴルフ選手権大会コニカミノルタ杯の開催に伴う臨時列車の運行の検討につきましてでございます。

神戸電鉄株式会社では、「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の基本方針2「まちづくりと連携した地域公共交通網の形成」における「観光資源の開発とアクセス手段の確保」に基づきまして、9月12日、木曜日から15日、日曜日までの間、チェリーヒルズゴルフクラブにおいて開催されます標記大会への来場者の移動ニーズに対応するため、次のとおり臨時列車の運行を検討いたしております。

計画といたしましては、会場までの無料シャトルバスの発着駅であります恵比須駅での乗継ぎの利便性向上のため、神戸方面からの臨時列車を運行いたします。

運行本数、あくまで現時点の予定でございますけれども、9月12日の予選ラウンドから始まりまして9月15日までの決勝ラウンド、それぞれ上下各7本あるいは各8本の合計各30本、合計60本の運行を予定いたしております。

この臨時列車の時刻等の詳細につきましては、決定しだい神戸電鉄のホームページ等で周知・PRする予定でございます。

報告事項4番につきまして、以上でございます。

○会長

はい、ありがとうございました。

このことについて、何か御質問等はございますか。

はい、どうぞ。●●さんどうぞ。

○●●委員

質問ではないですけれども、ゴルフ大会に合わせて増便するというのは、サントリーレディースオープンでもやっています、その際には非常に木津駅が本当にあふれちゃうみたいな状況になっています。それは主催者側が公共交通の利用に誘導していただいているからというところがございます。今回初めてこういう形でここではやるんですけれども、今後こういう大会が三木市内でされる場合は、公共交通の誘導をもうちょっと働き掛けていただいて、今回これだけ増便してどれほど利用率があるのかというのは未知数なので、やってみてということになりますけれども、サントリーレディースのようにそういったことで利用促進につながっていけばというふうに思っていますので、期待をしております。よろしく申し上げます。

○会長

はい、ありがとうございます。

ほかにもございますでしょうか。

ぜひ事務局のほうにマスターズレディースも恵比須駅から近いですので、ぜひお声掛けをいただければと、ゴルフ場にお声掛けをいただければと思います。

質問はございませんか。

では、次に移ります。

スタンプラリーの実施についてということで、御報告をお願いいたします。

○事務局

神戸市公共交通課の●●より説明させていただきます。

資料6を御覧いただきまして、仮称ということですが、粟生線のスタンプラリーの実施についてです。「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の基本方針1「鉄道を軸とした地域公共交通網の維持・形成」における「鉄道とバスの連携強化」及び基本方針3「地域公共交通の活性化及び利用促進」における「楽しい<非日常>利用に対するモビリティ・マネジメントの実施」に基づき、粟生線の周知・PRを図るとともに、鉄道及びバスの利用を促進するため、スタンプラリーを次のとおり実施いたします。

イベント名はさきほど申し上げたとおり粟生線スタンプラリー、実施期間は今年度の10月1日、火曜日から今年度、12月15日、日曜日までを予定しております。

事業内容、こちらはまだ案でするので変更の可能性もありますが、以下のとおりとなります。

まず、ラリーポイントに関しましては、次のとおりとするということで、「ア」と「イ」というふうに書かせていただいています。「ア」は粟生線の所定の駅を5か所ということで、西鈴蘭台駅、木津駅、三木上の丸駅、三木駅及び小野駅。「イ」のほうは観光施設6か所ということで、これも2通り書かせていただいています。「(ア)」のほうは駅から徒歩でアクセスできる観光施設ということで、こうべ環境未来館、三木鉄道ふれあい館及び小野市立好古館。「(イ)」のほうは駅からバスでの乗継ぎによってアクセスできる観光施設ということで、しあわせの村温泉健康センター、山田錦の館(吉川温泉よかたん)及びひまわりの丘公園ということで書かせていただいております。

(2)ですけれども、まずこちらの粟生線の所定の駅5か所のうち1か所及びこの6か所の観光施設のうち1か所、合計2か所のスタンプを押印した応募者に対し、抽選で50名様に神戸電鉄1日フリーパス券を贈呈いたします。更に、ダブルチャンスとしまして、この観光施設に関しまして、さきほどの「(イ)」のほうですけれども、駅からバスでの乗継ぎによりアクセスできる観光施設、こちらのスタンプを押印いただいた応募者に対しましては、更に、抽選で15名様に沿線3市にちなんだ賞品、これは各市5名分ということですが、こちらを贈呈いたします。

申込方法に関しましては、別途、イベントチラシ、これから作成いたしますけれども、こちらに印刷されました応募はがきにスタンプを押印していただき、必要事項を記入の上、郵送で応募申込みしていただくというふうになっております。

以上です。

○会長

はい、ありがとうございます。

このスタンプラリーの実施についてということで、何か御意見、御質問等ございますでしょうか。

では、先に進ませていただきます。

鉄道とバスの広域時刻表の作成についてということで、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

引き続きまして、資料7、鉄道とバスの広域時刻表「粟生線&バス乗継ガイド」の作成についてということで御説明申し上げます。

「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の基本方針1「鉄道を軸とした地域公共交通網の維持・形成」における「鉄道とバスの連携強化」に基づきまして、標記時刻表を作成いたしますというところです。

作成内容につきましては、平成30年度に引き続きまして、粟生線時刻表と粟生線各駅か

ら利用できるバスの時刻表が一体となった広域時刻表を作成いたします。これによりまして、鉄道とバスの接続のほか、各駅におけるタクシー乗り場、駐車場、駐輪場の有無等の情報を提供しまして、公共交通の利用を促進していくという内容でございます。

作成部数につきましては昨年度と同様1万5千部、発行予定日につきましては10月下旬ということで、本年10月のバスのダイヤ改正に対応できるようにいたしたいと考えております。

設置箇所につきましては、神戸電鉄各駅及び各公共施設等ということになっております。

昨年度からの主な改良点といたしまして、本年度におきましては粟生線各駅からバスへの乗継ぎによりアクセスできる観光施設等の情報を新たに掲載いたします。そのほか本年10月1日から、さきほど報告させていただきましたが、粟生線スタンプラリーを実施します。そのスタンプラリーの周知・PRも併せて図るという予定としております。

新たに掲載します観光施設等につきましては、粟生線スタンプラリーのラリーポイントと兼ねることによりまして、広域時刻表とスタンプラリーの双方の連携を図ってまいりたいと、そういうふうを考えております。

資料7につきましては以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

この件について何かございましたら、挙手にてお願いをいたします。

では、次に進ませていただきます。

三木金物まつりと連携したイベント列車の運行についてということで、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

失礼します。三木市交通政策課の●●と申します。よろしく申し上げます。

それでは、資料8を御用意ください。

三木金物まつりと連携したイベント列車の運行につきましてでございます。こちらにつきましては、「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の基本方針3「地域公共交通の活性化及び利用促進」における「楽しい<非日常>利用に対するモビリティ・マネジメントの実施」に基づきまして、金物のまち三木を広く沿線内外に周知・PRをするとともに、粟生線の活性化及び利用促進のため、標記イベント列車を次のとおり運行いたします。

イベント名としましては、仮称ですけれども、「しんちゃん列車で金物まつりへGO!」としております。

運行日につきましては、11月2日、土曜日、午前10時頃から午前11時頃を予定しております。

運行区間につきましては、谷上駅から鈴蘭台でスイッチバックをいたしまして、恵比須駅まで送客する予定にしております。

なお、金物まつりのまつり会場は、本年度から三木市役所周辺から三木山総合公園周辺に変更の予定でございます。

イベント内容としましては、(1)としまして、神戸電鉄株式会社のマスコットキャラクターしんちゃんと一緒に、谷上駅から恵比須駅までの貸切電車の旅を親子で楽しむイベントを予定しております。

(2)としまして、車内におきましては、しんちゃんとの記念撮影のほか、歌やゲームなど親子で参加できる企画を実施予定としております。

最後に、(3)としまして、車両にはしんちゃん及び三木金物まつりを周知・PRする特製記念ヘッドマークの掲出を予定しております。

以上でございます。

○会長

はい、この三木金物まつりと連携したイベント列車の運行について何かございますか。

はい、どうぞ。●●さんどうぞ。

○●●委員

これは1本だけのイベント列車ということなんですけれども、金物まつりの会場に電車で来てください、さきほど●●さんが言われたプロゴルフを見に行く人たちを誘導するというのと同じような形で、金物まつりの会場にはぜひ電車で来てくださいというような方向の働き掛けというのはできないものなんでしょうか。

○会長

事務局、どうぞ。

○事務局

ありがとうございます。こちらの企画につきましては、団体向けといたしますか、一般のお客様が利用されるような電車ではございませんので、そういったイベント向けになっておりますけれども、当然、電車を利用して金物まつり会場に来ていただくということにつきましては、駅からシャトルバス等の運行を計画しておりますので、そういったものと連携したPRを、駅貼りポスター等でPRしていきたいなと思っております。

○会長

はい、どうぞ。

○●●委員

三木市さんのほうで、そういうシャトルバスのことを運行していただいているんですけれども、神戸電鉄としましては、沿線のまつりとしてはここだけなんですけど、「三木金物まつり1dayパス」というのを作ってまして、それで会場へ来ていただいたら、ちょっと景品がもらえるというような仕組みでもやっております。ただ、ちょっと周知がまだ課題があるので、もうちょっと増えてくれたらなというところがありますけれども、そういう取組をやっています。

○会長

ぜひどんどんPRをしていただきたいと思います。

ほかにもございますでしょうか。

よろしいですか。

ほかにもこれまで、今思い出したというようなことがありましたら、この場で挙手いただければと思います。

どうぞ。●●さんどうぞ。

○●●委員

すみません。どれという項目ではないんですけれども、いわゆる活動の御報告をいただきまして、それぞれ一生懸命な取組をしていただいているということで、あらためて感謝申し上げます。

報告事項の中にもありましたけれども、まず、利用状況のほうですね。やはり厳しい状況の中で、トレンドを見ると若干微減の方向ということで、それをなんとかしていかなくてはいけないという厳しい状況にあるという御報告もございました。

それで、取組につきましては、今いろんな形で報告があったんですけれども、御案内のように平成29年4月に地域公共交通網形成計画を策定しまして、それぞれいろんな役割分担をしながらこういう取組をやっているということで、目標も設定して、それぞれで取組をしていただいております。

前回の協議会の中で、今年度の協議会の取組方針と重点事業の案ということで御説明があったということでございまして、当然、こうした網形成計画に基づいた取組をそれぞれ独自の立場でやっていただいている部分も含めてお願いしておきたいというふうなことが1点と、その中で前回、今年度が計画のちょうど中間年度に当たるということで、PDCAサイ

クルに基づいて中間評価もやっていくと、そこもきっちり効果の検証とか、そういったものを今後の取組の改善にもつなげていくというお話もあったので、ぜひまたそういったところも含めて、より効果的な活動ができるような取組をお願いしたいということで、重ねてのお願いになりますけれども、よろしく願いいたします。

○会長

はい、ありがとうございました。きっちり、折り返し地点ということもありますので、きっちり検証もしていきたいと思います。

ほかに御意見はございますでしょうか。

1つ情報提供なんですけど、8月28日の午後5時から8時半なんですけど、三木市役所前の広場で、これ毎年行っているんですけども、食づくりの会感謝祭ということで、三木商工会議所に所属されておりますいろんなお店屋さんが出店されて、楽しくビアガーデンみたいなものをさせていただいているんですけど、神戸電鉄で来ると、あれいくらやったかな、300円、500円。

○事務局

300円です。

○会長

300円でしたかね。来られたら、更に割引券がもらえますので、ぜひ神戸電鉄で来ていただきたい。いつも神戸電鉄の役員さんも来られていますので、非常にいい料理が出てることだけ申し上げておきます。

ほかによろしいでしょうか。

ないようでしたら、事務局にマイクをお返しします。

○事務局

仲田会長におかれましては、会議の進行どうもありがとうございました。

また、委員の皆様には慎重なる御審議と貴重な御意見をどうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして第38回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会いたします。

次回につきましては、本年12月頃を予定いたしております。日程につきましては、後日、皆様がたのほうに通知をさせていただきたいと思います。

併せまして、委員の皆様におかれましては、今後とも粟生線沿線地域の活性化の取組等につきまして、何とぞ御協力を賜りますようによろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。